

# 基礎科学演習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
種村 潔	1	後期	火・水	13:00～14:30	

## 科目の到達目標 (GIO)

歯科医学を円滑に理解するために必要な自然科学の知識を修得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	赤松松太郎・鮎川武二・藤城敏幸・村田浩 (著)	医歯系の物理学	第2版	東京教学社
	山口良平, 山本行男, 田村 類 (著)	ベーシック有機化学	第2版	化学同人
	和田勝 (著)	基礎から学ぶ生物学・細胞生物学	第4版	羊土社
参考書	加納克己・高橋秀人	基礎医学統計学	第6版	南江堂

## 学習方略 (重複可)

- 講義     示説     グループ討議 (PBL, TBL を含む)     実習  
 その他 (問題演習)

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 ( %)     論述試験 ( %)     口頭試験 ( %)     レポート ( %)  
 実地試験 ( %)     ポートフォリオ ( %)     シュミレーションテスト ( %)  
 観察記録 ( %)     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) ( %)

## 成績評価方法

熱と物質の物理, 自然現象の数学, 生体物質の化学, 細胞の生物学の成績と合わせて評価する。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

熱と物質の物理, 生体物質の化学, 細胞の生物学のオフィスアワーに準じる。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
12月13日 (A)	小野 裕明 渡辺みのり 山下 陽介 山田 弘明	歯学入門実習 (物理)	A組は歯学入門実習を行う。 B組は休講とする。
	準備学習	各自の実験テーマに該当する箇所を予習し, レポートの前半部分を作成する。	
12月14日	長田 敬五	細胞の生物学 中間試験	1) 中間試験問題を解く。
	準備学習	2週間前から中間試験の範囲の試験勉強する。	
12月20日	小野 裕明	自然現象の数学 中間試験	1) 中間試験問題を解く。
	準備学習	中間試験範囲の講義内容, 演習問題を再確認する。	
12月21日	渡辺みのり	熱と物質の物理 中間試験	1) 中間試験問題 (電磁気学分野) を解く。 ※詳細は熱と物質の物理の講義で改めて連絡する
	準備学習	電磁気学分野の講義内容を確認し演習問題を解く。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
1月10日	種村 潔	立体化学	1) 糖・アミノ酸の Fischer 投影式を記入する。(C-1-1)-2, (C-2-1)-1, 2) 2) 糖・アミノ酸の DL・RS 表示を決定する。(C-1-1)-2, (C-2-1)-1, 2)
	準備学習	Fischer 投影式, DL 表示, RS 表示について復習する。	
1月11日	長田 敬五	mtDNA	1) ヒト mtDNA のサイズと形態を具体的に述べる。(C-2-2)-1) 2) ヒト mtDNA の遺伝子の数と種類を列挙する。(C-2-2)-1) 1) 3) CPEO, メラスおよびマーフの原因, 症状, 遺伝特性について説明する。(C-2-2)-4)
	準備学習	12/22 に実施した「細胞の生物学」の要点を確認する。	
1月17日	小野 裕明	問題演習	1) 環境学の基礎の演習問題を解く。(C-1-2)-1) 2) 剛体・弾性体分野の演習問題を解く。(C-1-2)-1)
	準備学習	環境学の基礎 (小野担当) の演習問題, 剛体・弾性体の演習問題を解く。	
1月18日	種村 潔	誘起効果と共鳴効果	1) カルボン酸の酸性度の順番を決定する。(C-1-1) 2) 環状共役化合物の安定性を決定する。(C-1-1)
	準備学習	誘起効果と共鳴効果を復習する。	
1月24日	長田 敬五	ゲノムと生物種	1) ゲノムの定義について説明する。(C-2-2)-1) 2) 分類群とランクについて説明する。 3) 種の概念について説明する。
	準備学習	1/19 に実施した「細胞の生物学」の要点を確認する。	
1月25日	種村 潔	脱離反応	1) 脱離反応の生成物の構造を決定する。(C-1-1)
	準備学習	脱離反応で生成するアルケンの構造を復習する。	
1月31日	長田 敬五	生物の分類体系	1) 生物の代表的な分類体系を列挙する。 2) 各分類体系の特徴を列挙する。
	準備学習	1/26 に実施した「細胞の生物学」の要点を確認する。	
2月1日	種村 潔	アルコール・エーテル	1) アルコールを命名する。(C-1-1) 2) エーテルを命名する。(C-1-1)
	準備学習	アルコールとエーテルの命名法を復習する。	